

# 良い家族と悪い家族

島根県 さいぜんじ西禅寺住職 お がわ ゆう し小川裕史

---

今朝は良い家族と悪い家族というお話です。

近所に、二軒の家がありました。一方の家族は、いつも明るく和やかな仲の良い家族です。

しかしもう一方の家族は、いつも言い争いが絶えず、なにかしらごたごたしていました。

ある日仲の悪い家族のおじいさんは、仲の良い家族のおじいさんに相談しました。「お宅の家族は、いつも仲良しですが、どうしたら、そんなにうまくいくのですか？」と尋ねました。

すると仲の良い家族のおじいさんはにっこり微笑んで「お宅の家族は、良い人ばかりで、私の家族は、悪い人の集まりだからですよ」と答えました。

仲の悪い家族のおじいさんは仲の良い家族のおじいさんの言うことがさっぱり理解出来ません。

二人でそんな話をしながら、仲の良い家族のおじいさんの家に行きました。仲の良い家族のおじいさんが薄暗い土間に入った途端、そこにあったバケツに躓き、ずぶ濡れになりました。それを見たお嫁さんは「バケツは、わたしがそこに置いたのです。ごめんなさい、私が悪かったんです。」と言いました。

すると奥で見ていたおばあさんが「おじいさんが土間に入るのが見えたんだけど、つい声を掛け損ねて、ごめんなさい。私が悪かったんです。」と言いました。

それを聞いたおじいさんは「私がよそ見してバケツをひっくり返したんだよ。私が悪かった」と言いました。

そんな会話を傍で聞いていた仲の悪い家族のおじいさんは、はっと気がつきました。そして全てを理解出来たそうです。

何でも相手のせいにして反省しない生き方の結果はどうなるのでしょうか。

「悪かったね！」の声があふれる家族になればみんなきっと幸せな家族になれる事でしょう。